

平成30年度 小矢部市議会 議会報告会 報告書

開催年月日	平成30年11月30日(金)			会場名	農村環境改善センター 農事研修室・農産研修室	
開始時刻	午後6時30分			終了時刻	午後7時58分	
参加者数	男	34人	女	8人	合計	42人
出席議員	嶋田 幸恵		石田 義弘		福島 正力	
	吉田 康弘		山室 秀隆		出合 和仁	
司会進行	山室 秀隆			記録	議会事務局	

議会報告会での意見交換(事前にいただいた質問の紹介と回答)

意見等の要旨	議員回答の要旨
<p>・政務活動費について【事前提出あり】</p> <p>・小矢部市議会の政務活動費の按分収支について見解を伺いたい。(公金は曖昧・不透明は許されないにも関わらず、なぜ小矢部市議会では按分を認めているのか)</p> <p>・電話、ガソリン代は公私の見極めが難しいため、隣接市では按分収支を認めていないのに、なぜ、小矢部市議会では按分を認めているのか。</p> <p>・按分項目削除を求めているが、できない理由は何か。</p>	<p>・議員活動は多岐に渡っており、政務活動とそれ以外の活動との区分が難しい場合があるため、政務活動費を支出する上で、按分して費用計上することについては、多くの裁判所の判決をみても認められているところです。しかし、小矢部市議会では、曖昧で不透明な按分は認めず、説明責任が十分に果たせるものについてのみ按分を認めることとしております。</p> <p>・また、電話、ガソリン代の按分については、公私の見極めが難しいため、過去5年を遡って調べましても、適用実績がないのが実情であります。</p> <p>・小矢部市議会では、現在、ペーパーレス化に向けたタブレット端末の導入について検討を進めているところであり、既にタブレット端末を導入した近隣自治体の例では、タブレット端末の運用に係る経費を、公務に係るもの、政務活動に係るもの、政治活動等に係るものに区分け・按分を行い、経費の一部を政務活動費で支出しております。</p> <p>小矢部市議会ではタブレット端末の運用に係る経費の負担をどのようにするのかということについては、タブレット端末の導入自体も検討段階であるため定まっておりませんが、このような近隣自治体の例があることから、按分項目を残しているところであります。</p> <p>いずれにいたしましても、政務活動費の按分は、説明責任が十分に果たせており、透明性が確保されているもの以外は行わないこととしておりますので、ご理解いただきたいと思っております。</p>
<p>・成年後見センター設置事業について【事前提出あり】</p> <p>とやま呉西圏域連携事業の成年後見センター設置事業について、議会との関わり、進捗状況、経費の負担について伺いたい。</p>	<p>・成年後見センター設置事業については、平成31年度に実施が予定されている事業であります。この事業については、現段階では、呉西6市で協議・調整を行っている段階であり、残念ながら、現段階では具体的なことを申し上げることはできません。</p> <p>呉西6市での協議・調整が終了した暁には、当局から議案(予算議案)として議会に提出されることとなりますので、その際には、市議会として、委員会等において十分な審議を行って参りたいと考えております。</p>

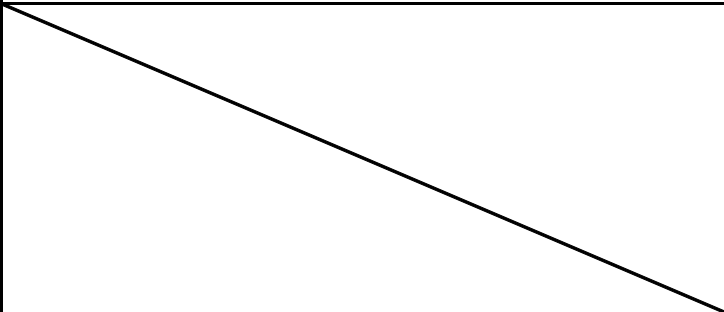
平成30年度 小矢部市議会 議会報告会 報告書

開催年月日	平成30年11月30日(金)	会場名	農村環境改善センター 農事研修室・農産研修室
議会報告会での意見交換(事前にいただいた質問の紹介と回答)			
意見等の要旨		議員回答の要旨	
<p>・インターチェンジの活用方法について【事前提出あり】 市内にある2つの高速道路のインターチェンジの活用方法について、行政と議会の取組、考え方について伺いたい。</p>		<p>・高速道路のインターチェンジの活用方法については、一部の議員が当局に対して同様の質問をしています。当局としては、小矢部インターチェンジ周辺に関しては、現在、物流関連企業をはじめ、様々な企業誘致活動に取り組んでいるところであり、また、小矢部フロンティアパークの分譲率は95%で残り2区画となっているため、今年度は、次の産業団地の整備に向けた適地調査を実施しているということでした。 また、小矢部東インターチェンジ周辺に関しては、農業振興地域であるため、工業団地を整備する場合、企業の進出意志が明確であること、企業の立地に対する地域住民の同意が得られていることなどの諸条件を整える必要があり、これらの諸条件が整えば、市としては農村地域工業等導入実施計画を策定して、企業の立地を支援する意向であるということでした。 市議会といたしましても、今後とも、これらのインターチェンジ活用に向けた取組について注視しながら、機会を捉えて市当局を質していきたいと思っています。</p>	
<p>・国道8号線の改良について【事前提出あり】 国道8号線の改良、倶利伽羅トンネルについて伺いたい。</p>		<p>・倶利伽羅トンネルの改良を含めた国道8号の改良事業の早期完成については、市当局、市議会として、国や県に対して重点的に要望活動を行ってきたところです。 事業の進捗状況についてですが、現在、地元に対して事業説明を行っており、用地買収の範囲を示す用地幅杭の設置を行っているところであります。また、芹川・桜町地内に関しては、4車線化に向けて、小矢部川に架かる橋の工事が行われているところであります。 早期の工事完了に向けて、引き続き、注視するとともに、要望を行って参りたいと考えております。</p>	
<p>・空き家対策について【事前提出あり】 空き家対策について、行政、議会の取組について伺いたい。</p>		<p>・空き家対策については、一部の議員が当局に対して同様の質問をしており、市当局には、平成29年度に空き家等の実態把握調査を実施し、それに基づき、同年度末に小矢部市空家等対策計画を策定し、適正な空き家管理の推進を図っているとのことです。また、老朽危険度が高い空き家については、所有者に対して、適正な管理や利活用についてのリーフレットを送付するなどにより周知・啓発を行っており、加えて、特に危険度が高いものについては、文書による指導・助言を行うとともに、所有者と面談を行うなど、改善に向けた取り組みを進めているとのことです。 このほか、空き家の取り壊しや、空き家の活用促進に向けた補助メニューを設け、また、今年度より、空き家管理検索システムを構築するなど、適正な空き家管理の実現に向けて取組が進められているところであります。市議会といたしましても、これらの取組に注視しながら、機会を捉えて、空き家の適正管理・利用促進等の観点から、市当局を質(ただ)していきたいと思っています。</p>	

平成30年度 小矢部市議会 議会報告会 報告書

開催年月日	平成30年11月30日(金)	会場名	農村環境改善センター 農事研修室・農産研修室
議会報告会での意見交換(事前にいただいた質問の紹介と回答)			
意見等の要旨		議員回答の要旨	
<p>・議会報告会の開催方法について【事前提出あり】 今回の議会報告会は、2会場同時開催だが、これだと全ての議員の話が聞けないので残念である。今後の議会報告会はどのように開催する予定であるのか。</p>		<p>・今回、2会場で開催にした理由は、色々な地区の方の声を聞きたいという思いからです。1会場で行うと、大きな会場で行う必要があり、参加者一人一人の声がこちらに届きにくい傾向があります。</p> <p>また、私ども市議会としては、議会報告会を、①議会の活動内容を市民の皆さんに知っていただくこと、②市民の皆さんの声を議会として受け止め、市当局への政策提言に繋げることを中心に考えており、議員個人の考えを述べることを想定していないため、このような形での開催としたところであります。</p> <p>今後、頂いたご意見も参考にしながら、市民の方に望まれる議会報告会のあり方・開催方法等について検討していきたいと思っております。</p>	
<p>・小矢部市の財政状況について【事前提出あり】 小矢部市の抱える借金の額と、それに対する議会の見解、また、議会として今後どのように取り組んで行くのか。</p>		<p>・市債の残高は、平成29年度末で約300億円、平成30年度末で約320億円となる見込です。また、将来負担比率についても、先ほどご説明したとおり、石動駅南北自由通路と新図書館、大谷と蟹谷の2つの統合こども園、仮称石動コミュニティプラザの整備など、大型事業が予定されていることから、非常に高い水準で推移することが見込まれております。</p> <p>これらの状況については、議会としても、看過することはできないと考えており、後の世代に負担を残さないように、定例会や委員会の場で、度々、当局を質しているところであります。</p> <p>市議会といたしましては、今後とも、市債残高等について注視しながら、持続可能な自治体経営という観点から、施策の費用対効果の検証や公共施設の再編などによる歳出の抑制も考慮に入れ、議会活動を展開していきたいと考えています。</p>	
<p>・石動駅南北自由通路開通に伴う意見【事前提出あり】 11月27日に石動新駅舎が完成し、砺波地方から多くの高齢者の方が見学に来られていた。新しい石動駅と南北自由通路が砺波地方の多くの方に利用されることを願っている。</p>		<p>・高齢者の方々が見学に訪れていらっしゃることに、大変喜ばしく思っています。石動駅は昔、県下でも大変乗降者が多い駅でした。それは、石動駅始発の加越線が庄川まで走り、多くの旧東・西砺波郡の方々が利用されていたからです。今回の駅舎の改築で昔を思い出され、どのように変わったのか見学にいらっしやったのではないかと思います。</p> <p>石動駅は、金沢市と高岡市の中間に位置し、両市を利用する場合に非常に便利な駅だと認識しています。今回の南北自由通路の開通により、駅南側からの駅利用が従来に比べて格段に便利になりました。このことから、近隣市に向けて、新たに整備された石動駅の利用促進を働きかけたいと考えています。</p>	
<p>・あいの風とやま鉄道の増便について【事前提出あり】 春のダイヤ改正により、朝の7時台の石動駅発富山方面行きの電車が増便されたところであるが、さらなる増便を多くの利用者の方が待ち望んでいる。引き続き増便に向けて取り組んで欲しい。</p>		<p>・市当局・市議会とも、以前より、あいの風とやま鉄道に対して、JRが電車を運行していた頃と同様の石動駅停車本数(普通・特急)、特に富山方面について確保して欲しい旨の要望をしてきました。その甲斐があり、本年の春ダイヤ改正により、石動駅始発7:05発が増便されました。この増便については、津幡駅で折り返し運転を行っており、さらに増便を行うには石動駅での折り返し施設が必要となることから、今後、この施設の設置に向けてさらなる要望をしていきたいと考えています。</p>	

平成30年度 小矢部市議会 議会報告会 報告書

開催年月日	平成30年11月30日(金)	会場名	農村環境改善センター 農事研修室・農産研修室
議会報告会での意見交換(当日に会場で寄せられた意見等)			
意見等の要旨		議員回答の要旨	
<p>・政務活動費について(再質問) 政務活動費の按分は行うべきではない。過去の資料を見ても按分が行われている。使途基準から按分の項目を削って欲しい。</p>		<p>・先ほどご説明したとおり、現在、按分は基本的には行っておらず、政務活動費の支出内容については事前に精査しており、市民の皆さんに説明できるように対応しています。是非、近年の資料をみて判断していただきたいと思ます。 運用に当たってはある程度の柔軟性が必要だと考えています。この件については、全ての議員が認識しているところであり、ご理解いただきたいと思ます。</p>	
<p>・政務活動費について 先ほどの意見で問題だということで参加者からの意見があったが、私は按分については何ら問題はないと思。説明責任が果たせるものについてはそれで十分だと思。</p>			
<p>・成年後見センター設置事業について(再質問) とやま呉西圏域連携事業の成年後見センター設置事業について、負担額の人口割の提示はいつ頃されるのか。</p>		<p>・先ほども説明したとおり、市が主体の事業ではなく、31年度に向かって呉西6市で協議中であるため、議会としてもお答えできる段階ではありません。事前にご質問をいただいた際に、当局にも確認していますが、そのような話は聞いておりません。決定次第、ホームページ等で回答したいと思ます。</p>	
<p>・成年後見センター設置事業について 成年後見センターについては、個人情報の管理が非常に重要であり、センターを作るとなると個人情報の漏洩が危惧される場所であるが、市議会としては、センター設置の可否をどのように判断するのか。</p>		<p>・議会としては、この件については正式に当局側からの説明を受けておりません。説明を受けての判断ということになると思ます。成年後見制度については重要なことでもありますので、しっかりと対処していきたいと思ます。</p>	